

招 集 期 日	令 和 3 年 1 月 20 日 (水)		会 議 の 場 所	302 会 議 室
会 議 の 時 刻 及 び 宣 告 者	開 会 の 時 刻	午 後 1 時 30 分	開 会 者	教 育 長
	閉 会 の 時 刻	午 後 2 時 25 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 教 育 長 職 務 代 理 者	出 席	岩 崎 智 子 委 員	出 席	
高 瀬 賢 一 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	川 島 学 校 教 育 部 長	寺 崎 生 涯 学 習 部 長	須 永 教 育 総 務 課 長	大 久 保 学 校 教 育 課 長
	小 島 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	今 成 生 涯 学 習 課 長	佐 藤 ス ポ ー ツ 振 興 課 長	根 岸 図 書 館 長 兼 郷 土 資 料 館 長
書 記 名	教 育 総 務 課 総 務 係 横 山			傍 聴 人 1 名
会 議 事 件 名	て ん 末			
開 会	教 育 総 務 課 長	本 日、1 名 の 傍 聴 人 が あ る。		
	教 育 長	傍 聴 人 の 入 室 を 許 可 す る。  (傍 聴 人 入 室)		
	教 育 長	1 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会  会 議 に 先 立 ち 御 報 告 申 し 上 げ ま す。 令 和 3 年 1 月 11 日、ま ち づ く り 部 建 設 課 岡 村 聡 彦 課 長 が 収 賄 の 容 疑 に よ り 埼 玉 県 警 察 に 逮 捕 さ れ ま し た。当 日、羽 生 市 の ホ ー ム ペ ー ジ に 市 長 の コ メ ン ト 発 表 を し ま し た が、常 日 頃 か ら 市 職 員 の 綱 紀 肅 正 の 徹 底 を 指 示 し て き た に も か か わ ら ず、こ の た び、管 理 職 員 が こ の よ う な 容 疑 で 逮 捕 さ れ た こ と は、誠 に 遺 憾 で あ り、痛 恨 の 極 み で あ り ま す。市 民 の 皆 様 に 多 大 な る ご 迷 惑 を お か け し、行 政 に 対 す る 皆 様 の 信 頼 を 大 き く 損 ね た こ と に 対 し、心 か ら お 詫 び 申 し 上 げ ま す。二 度 と こ の よ う な こ と が 起 こ ら な い よ う、職 員 の 法 令 遵 守 の 徹 底 を 図 る と と も に、原 因 究 明 と 再 発 防 止 に 努 め、市 民 の 皆 様 の 信 頼 回 復 に 全 力 で 取 り 組 ん で ま い り ま す。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第1 前回会議録の承認</p>	教育長	<p>教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する案件等について出席委員の3分の2以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程の中で非公開とすべき案件はないため、全て公開としてよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
<p>日程第2 報告事項1 令和2年12月定例市議会提出(教育委員会関係)議案等について</p>	教育長	<p>12月定例教育委員会の会議録について諮った</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>前回会議録は、承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>報告事項1について、学校教育部長と生涯学習部長から説明を求めた。</p>
	学校教育部長	<p>斉藤隆議員から、令和2年度羽生市一般会計補正予算について議案質疑があった。</p> <p>「フィルタリングソフトの仕様・契約内容・インストールについて」は、フィルタリングソフトは、株式会社 YE DIGITAL製のNetFilterクラウドを採用する予定であり、契約内容は5年分のフィルタリングソフト使用料で、端末1台あたり税込み3,850円の3,844台分で、1,480万円である。クラウド上での運用となり、端末を家庭に持ち帰り使用する際も、フィルターがかかるので、学校でも家庭でも児童生徒が安全にインターネットを利用できると答弁した。</p> <p>中島直樹議員からの議案質疑、令和2年度羽生市一般会計補正予算のうち「学校給食センター調理等業務委託の債務負担行為限度額の算定根拠」については、調理員27人分の人件費や被服衛生費等で、年間1億483万円と積算し、令和3年度から令和5年度の3年間で3億1449万円としたものである。昨年度の</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>1億183万8千円と比較すると、2.93%の増加となっていると答弁した。</p> <p>江原博之議員からの一般質問「性的少数者の人権について」のうち「中学校の制服について」は、羽生市内の中学校の制服の状況を説明し、今後も、個々の性的少数者に配慮した対応を継続して行うよう指導してまいる旨、答弁した。</p> <p>江原博之議員から「理科教育振興法に基づく小・中学校の理科等備品整備について」一般質問があった。</p> <p>「小・中学校の理科等備品整備の状況について」は、国によって1校あたりの基準金額が定められており、予算の範囲内で学校の要望に沿って購入している。備品の充足率は、理科備品では、小学校57.96%、中学校46.04%、算数・数学備品では、小学校52.01%、中学校28.12%となっており、備品の種類によって充足率に差があると説明した。「今後の整備計画について」は、各学校で定期的に備品の点検を行い、新たに購入する備品の計画を立てたり、古くなった備品の廃棄を実施している。今後も、各学校に働きかけ理科・算数及び数学の教育環境の充実を図る旨、答弁した。</p> <p>野中一城議員から「登下校時の子どもの防犯対策について」一般質問があった。</p> <p>「子どもを守る110番の看板設置の推移について」、「子どもを守る110番の看板設置協力者との連携及び訓練の状況について」、「通学路における防犯カメラの設置状況及び設置個所の把握について」、「見守り空白地帯の解消に関する取組みについて」、「学校での防犯対策の指導内容について」、「今後の防犯対策強化について」それぞれ本市の状況を説明し、子どもたちの安全を確保し、安心して学校に通うことのできる環境を整えるため、今後も、学校・家庭・地域・関係機関が連携して指導の充実を図ってまいる旨、答弁した。</p> <p>野中一城議員から「学校の適正規模・適正配置について」一般質問があった。</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>「適正規模・適正配置を検討するに至った背景と目的について」述べた後、「再編の具体的な案について」説明した。再編成における基本的な考え方として、「全ての小学校でクラス替えが可能な規模となるようにする。」、「小中一貫教育を推進するとともに、将来的に義務教育学校を設置する。」、「再編成の進捗に合わせ過剰となった施設を廃止する。」の3つを示した上で、令和7年度に東中学校区、令和10年度に西中学校と南中学校区の小学校を再編成し、将来的には、中学校とその学区内の小学校を再編成し、西・南・東の3つの義務教育学校を設置する計画であることを説明した。「今後の地域住民、保護者への説明会、意見集約等の進め方について」は、教育委員会としては、保護者や地域住民への説明を丁寧かつ慎重に行い、理解を得たいと考えている旨、答弁した。</p> <p>増田敏雄議員から「学校再開後における授業の進捗状況について」一般質問があった。</p> <p>「小中学校・中学校において、学習内容の遅れを現在までにどれくらい取り戻しているかについて」は、夏休みの短縮や行事の精選、指導の工夫により、学習内容の遅れをほぼ取り戻していること、「学年末までに各学年の学習内容がおわるかどうか、万が一おわらない場合の対応について」は、土曜授業の実施や文部科学省から示されているように複数年にわたる教育課程の編成を検討していることを説明した。「中学3年生のこれからの受験対策について」は、教育委員会としては、各中学校に対して高校入試に関する県の方針や通知等を速やかに伝え、最新情報を学校に提供しながら、今後も積極的に支援してまいる旨、答弁した。</p> <p>柳沢暁議員からの一般質問「少子化対策・出生率の向上について」のうち、「第3子以降の給食費無償化」については、羽生市においては、様々な子育て支援が行われており、教育委員会としては、多子世帯への小中学校の給食費の無償化は考えていない旨、答弁した。</p>

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習部長	<p>丑久保恒行議員から「小中学生の学力アップ状況について」一般質問があった。</p> <p>「新型コロナウイルスの影響による学習の状況について」、「学習環境(タブレット端末)の整備状況について」それぞれ羽生市の現状を説明した。「埼玉県学力・学習状況調査の結果について」は、小学校4年生の国語では県平均より1.3ポイント、5年生は2.3ポイント上回り、小学校4年生から6年生の算数も県平均と同程度、トータルでは、県平均を0.2ポイント上回る大きな成果を得ることができた。今後も「学びの質」を高める授業改善を支援してまいらる旨、答弁した。「教育委員会の各学校に対しての指導状況について」は、現在実施している様々な支援・指導について説明した。「今後の教育方針について」は、「豊かな学びで夢と希望が輝く羽生の教育」を基本理念として羽生市の教育行政を推進しているところであり、今年度は学力向上に向けて、授業改善のためのポイントを『はにゅうの子』を伸ばす教育』として市内教職員に示し、学校一丸となって取組を進めており、「教育は人なり」という言葉にもあるように、新学習指導要領のねらう、主体的・対話的で深い学びが達成できる教育を実践できる教職員の育成に努めている。『知・徳・体・コミュニケーション能力』を地域とともに育みます』を教育方針として、学力向上グランドデザインや学力向上重点7を見直しながら、R-PDCAサイクルで学校を支援し続けること、そして、令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境を活用して、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育むICT教育の実現を目指し、着実に取り組んでまいらる旨、答弁した。</p> <p>中島直樹議員からの議案質疑、令和2年度羽生市一般会計補正予算のうち「図書館窓口業務委託の債務負担行為限度額の算定根拠」については、窓口業務スタッフ9名の人件費等を、年間開館日数293日、蔵書点検等の館内整理日16日、繁忙期の日数を80日として年間3,098万円と積算し、令和3年度から令和5年度までの3年間で9,300万円としたものである。単年度における支出の増減率は、令和2年度の契約額2,395万円と比較すると29.3%の増加となっており、限度額の上昇分は、福利厚生費などを含めた人件費が全体の約8割を占め、残り約2割が研修費、消耗品費、管理費である</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 令和2年羽生市教育委員会後援名義の承認等の状況について (7月～12月分)</p>	<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p>	<p>と答弁した。</p> <p>「ムジナモ保護増殖委託の債務負担行為限度額の算定根拠」については、宝蔵寺沼ムジナモ自生地内における現地調査に係るもので、水生動物や微生物などの動物調査8回に伴う調査員延べ32人、また植物調査10回に伴う調査員延べ50人、自生地内で採水した水の分析9回に係る費用等を積算し、135万円としたものである。令和2年度の契約額150万円と比較すると、10%の減少となった旨、答弁した。</p> <p>報告事項2について、教育総務課長から説明を求めた。</p> <p>教育委員会が後援等の名義の使用の承認を行う事業は、要綱に基づき教育委員会の方針に合致し、教育委員会の施策の推進に寄与するものと認められる事業である。また、教育長賞を交付する事業も同様の趣旨で、参加者が競い合うことにより技能の一層の向上が期待できるものと認められるものである。</p> <p>令和2年7月から12月までの後援名義の使用については、9件の申請があり、すべてが承認された。教育長賞の交付についても、5件の申請すべてが承認された。共催名義、協賛名義、推薦名義の使用は、いずれも申請はなかった。</p>
<p>報告事項3 小・中学校における2学期の表彰等の結果について</p>	<p>教育長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>報告事項3から5について、学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>1学期の表彰については、コロナ禍の中、該当無しであったが、2学期は、感染症対策を行いながら、例年行われている郷土を描く美術展や、身体障害者福祉のための美術展をはじめポスターコンクールが実施されている。また、中学校では北埼玉地区秋季総合体育大会をはじめとして、運動部活動の大会も、感染症対策を実施した上で行われた。</p> <p>中でも上位入賞としては、県民の日記念絵画コンクールにおいて、三田ヶ谷小学校と羽生南小学校の児童が知事賞を受賞した。ま</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 令和2年度羽生市 小林秀三教育賞受 賞者について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>た、羽生東中学校の野球部が北埼玉地区新人体育大会で優勝し、県大会でもベスト8まで勝ち進んだ。</p> <p>三田ヶ谷小学校の大舩教諭、西中学校の増村教諭、南中学校の山岸養護教諭の3名が小林秀三教育賞の受賞者として決定した。</p> <p>大舩教諭は、3年生の担任に加え教務主任として、主に学力向上に大きく寄与した。増村教諭は、教務主任で数学担当をしている。「平成29年度・30年度Jプラン」の人事異動で2年間、羽生北小学校で勤務した。その際に身に着けた小中連携のスキルを活かして、中1ギャップの解消や長期欠席解消に向けた児童生徒理解に努めている。山岸養護教諭は、養護教諭として生徒の心と体にかかる健康課題を十分理解し、健康相談活動を行っている。また、養護教諭の5年経験研修の指導者を務め、全県の養護教諭への指導に尽力している。</p>
<p>報告事項5 令和2年度羽生市教育 特別賞受賞者について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>羽生北小学校の村松養護教諭、新郷第一小学校の磯貝養護教諭の2名が受賞者として決定した。</p> <p>村松養護教諭は、埼玉県学校歯科保健コンクールの中規模校で最優秀校、また、全日本学校歯科保健優良校表彰「奨励賞」受賞の原動力となった。磯貝養護教諭は、埼玉県学校歯科保健コンクールの小規模校で最優秀校受賞の原動力となった。</p>
<p>報告事項6 令和2年度公民館利 用団体人権教育講座 の中止について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項6及び7について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>この講座は、公民館を利用している団体の方々を対象に開催し、人権問題に対する理解を深めていただくと共に、人権意識の高揚及び資質の向上を図ることを目的として、毎年実施しているものである。</p> <p>開催日程等を決定し準備を進めていたが、緊急事態宣言下及び感染拡大の状況にある中、研修への参加を募ることが困難であるなどの理由から、開催は難しいと判断し、中止することとなった。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 令和3年羽生市成人式の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止策を徹底した上で、1月10日に産業文化ホールにて開催した。該当者556名のうち351名が式典に参加した。参加率は63.13%で、昨年より約5%減少している。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止策については、参加者に対しマスクの着用及び手指消毒を徹底し、サーマルカメラによる検温を実施した。なお、マスクの未着用、体温が37.5度以上ある場合は入場制限を予定していたが、該当者は無かった。式典会場では、左右2席前後1席を空けて着席とし、ソーシャルディスタンスを確保した。また、出入り口の扉を開け、空調設備及び大型扇風機により、換気の徹底を行った。密を避けるため、当初予定していた全体での記念撮影を中止としたが、その代わりとして、屋外に「羽生市成人式式場」の看板を3ヶ所設置し、記念写真の撮影場所とした。</p> <p>オープニングにおいて、実行委員が編集した各中学校の卒業アルバムムービーと、「20年の紡ぎ」と題したイラストオリジナルムービーを上映した。上映時には歓声があがり、とても好評であったようである。今年度の記念品は、実行委員と協議し、環境保全や自然保護の観点からエコバックとした。参加者全員に配布し、しっかりした作りで丈夫、ムジナもののロゴが可愛いと好評であった。なお、当日参加できなかった方には、期間を設けて生涯学習課窓口でお渡ししている。</p>
<p>報告事項8 第45回羽生市ミニバスケットボール大会の開催中止について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項8について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>本大会は、1月24日に市内・市外のミニバスケットボールチーム8チームの参加により、羽生市体育館にて開催を予定していた。大会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染予防対策を十分に講じるなど、準備を進めてきたが、1月7日の緊急事態宣言の発出を受け、参加者の安全を最優先とするため、関係団体と相談のうえ、止む無く中止することとした。</p> <p>教育長</p> <p>報告事項9について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>



会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項9 ふるさと講座「利根川と文学 小説・詩・俳句」の結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p> <p>教育長</p>	<p>令和2年12月6日に、羽生市立図書館にて開催した。</p> <p>埼玉県立文書館の若松良一氏を講師に迎えた講演では、利根川にまつわる小説・詩・俳句に焦点を当て、多くの文人の作品を取り上げた。市内在住の10名の参加があり、講演後のアンケートにおいて、「資料が大変わかりやすく、楽しい講座だった」、「文学をより深く読むべきだと感じた」などのコメントがあった。来年度も多くの方が参加できるような講座を企画していきたい。</p> <p>その他の報告を求めた。</p>
<p>報告事項10 その他</p>	<p>教育総務課長</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言発令を受け、羽生市教育委員会の対応について申し上げる。</p> <p>市立小中学校は、感染防止対策を徹底しながら教育活動を継続している。その中で、感染予防の更なる徹底として、健康観察の徹底、体調不良の際は登校しない、手洗いの徹底、適切な換気、保湿、マスクの着用、合唱や調理実習等の中止、給食の食事中の会話を禁止とし、部活動は1月7日から2月7日まで中止としている。</p> <p>また、規則正しい生活習慣の徹底、手洗いの徹底、適切な換気、保湿、マスクの着用、不要不急の外出を避け可能な限り速やかに帰宅すること、児童生徒のみの会食等の自粛を各家庭にお願いしている。</p> <p>公共施設については、公民館は、午後5時以降の貸出を中止、体育館は、午後7時以降の貸出を中止、小中学校体育館の貸出は、終日中止としている。図書館・郷土資料館は、午前10時から午後6時までの開館時間短縮を継続している。産業文化ホールは、指定管理者が基本的対処方針及び埼玉県緊急事態措置に基づき、個別に対応しており、午後8時以降の貸出を中止している。</p> <p>最後に、羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針(案)の地区説明会については、1月18日(月)から2月7日(日)までの予定で開催する計画であったが、延期となった。新たな日程については、緊急事態宣言が解除された後、改めてお知らせする。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	柿沼委員	成人式については、他の自治体では直前に中止や延期になったところもあり、羽生市が予定通り開催するに至るまで苦労したと思うが、保護者から「開催してくれて良かった」との声を聞いている。中止した自治体では、着物のレンタルのキャンセル等、いろいろ大変だったようであるし、リモートで開催した自治体では、成人の方は「同級生と会いたかった」という声があったようである。開催することでマイナスの意見もあったかもしれないが、実行委員会がきちんと対応して、成人式が開催できて本当に良かった。
	生涯学習課長	羽生市としては、市の方針で、感染防止策を徹底した上で実施するというので開催した。実行委員会のメンバーも、5回に渡り打ち合わせを重ね準備してきており、新成人の思いも含め、開催して良かったと思っている。
	教育長	主催は羽生市と羽生市教育委員会だが、実行委員が何度も打ち合わせして積上げた思いと、次年度成人式を迎える準備委員の「先輩たちのために」という気持ちがあった。参加者の健康と安全を第一にと考え、色々な事を二度三度変更したり、考え直したりしながら、式典を短縮し、写真撮影も取止め、開催できるよう一生懸命考えてくれた。その結果、開催できて良かったという声を多く耳にする。今後も、様々な行事において知恵を出し合い工夫し、できる方法を考えるスタンスでいければと思う。
	高瀬委員	小林秀三教育賞、教育特別賞について、受賞者の年齢、経験年数等を教えてほしい。
	学校教育課長	(受賞者の年齢、経験年数等を説明) 小林秀三教育賞受賞者3名、教育特別賞受賞者2名はいずれも、他の模範となる素晴らしい先生方である。

会議事件名	て ん 末	
	高瀬委員	2 学期の表彰等の結果については、先生方が指導をととも頑張っていると感じた。以前と比べて美術関連の表彰が多く、羽生市として美術に力を入れているのか、また、優秀な先生がいるのか。
	学校教育課長	郷土を描く児童生徒美術展や身体障害者福祉のための児童生徒美術展は、全ての児童が参加し、校内の審査を行っているので、良い作品を出品できたのではないかと考える。
	岩崎委員	同じく、2 学期の表彰等の結果について、中学生はコロナ禍で部活動が思うように活動できない中、3 年生が引退してからの新人体育大会で、少ない時間でも頑張って良い成績を収めており、嬉しく思う。学校ごとに部活動の特色があり、力を入れているのが良く分かる。1 月に入ってからの緊急事態宣言下で部活動ができず、子どもたちも歯がゆい思いをしていると思う。このような状況だが、先生方には子どもたちが健全に成長していけるような環境を、今後も作っていただければと思う。
	学校教育課長	部活動については、中学 3 年生には公式試合はできないが、練習試合を行い、引退に華を添えたいという先生方や生徒の思いがあった。秋になり感染防止対策を徹底しながら秋季大会を開催することができた。コロナ禍が収束することが見えない中で、感染防止対策を行いながら、どのように実施していくかという事が今後求められ、各競技団体等で対策を話し合いながら実施されていくと思う。教育委員会でも最新の情報を得ながら、どのような方向がいいのか、また、校長会を通じて学校とも協議を重ねていきたいと考えている。
	教育長	北埼玉地区中学校駅伝競走大会男子の部で、西中学校が第 1 位となったが、3 年生も参加して優勝できたことは、非常に嬉しいことである。同大会女子の部で、南中学校が 2 位だったことも、特記すべき事項である。また、埼玉県小中学生科学コンクールで、岩瀬小学校の児童と東中学校の生徒が優秀賞を受賞している。理科離れと言われている中、このように評価される研究ができることは素晴らしい。

会議事件名	て ん 末	
	平野委員	<p>公民館利用団体人権教育講座は、新型コロナウイルスの関係で中止ということだが、飛沫が飛ぶことにより感染する可能性が高いことが明らかになってきているので、早々に中止としなくても、対策を講じて実施する他の事業とのバランスを考えても良いのではと感じた。その点についてはいかがか。</p>
	生涯学習課長	<p>この講座の対象者は高齢者が多いため、また講師の都合等もあり、中止と判断した。委員の意見のとおり、何でも中止にするということではなく、感染防止対策を講じた上で、実施可能と判断できるものは、開催したいと考えている。</p>
	柿沼委員	<p>学力アップに関する市議会一般質問に関連して、大学入試のセンター試験が廃止になり、大学入学共通テストに変わったが、英語のテストにおいて、以前はリーディングの配分が80%、リスニングが20%であったが、今年度はリーディングが50パーセントでリスニングが50パーセントとなった。羽生市の小中学校のALT常駐は追い風になると思う。以前、市内の小学校で、大学の先生を招いて教えていただいたとき、スピーキングにおいて日本人は文法を気にし過ぎて上手く話せないで、子どもたちには詳しく教えないで、思ったとおりに会話させる方が良いと聞いた。大学入試の試験が変わり、日本の英語に対する取組が変わってくるのではないかと思うので、文部科学省の動きを察知し、先端教育を行っていければと思う。</p>
	学校教育課長	<p>市内の英語科の授業を見ると、小学校は、英語に触れる、ALTの話すことを聞く、それを真似て自分も話すという具合に進めており、細かい文法を教えてはいない。中学校では、文法はしっかり押さえつつ、生徒が自分の意見で英語を述べられることに重きを置いて、まずヒアリングの力、そしてスピーキングの力を育てるような授業を行っている。これからも、委員の意見のとおり最新の情報を得ながら、英語教育の先端を進むことができるよう取り組んでいきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
閉 会	学校教育部長	<p>昨年度、市内全小学校の6年生を対象に実施したGTEC juniorでは、全ての学校で4つの技能の内、「聞く」「話す」が一番上のレベルという結果であった。ALT常駐等、英語教育の成果が現れていることを報告する。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>2月定例教育委員会は、2月10日 午後1時30分より、教育委員室にて開催する。</p>
		<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>